

禁止
機器をマグネットで高所に取り付けしないでください。落下によるケガ・機器破損の恐れがあります。

禁止
振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しないでください。落下によるケガ・故障の原因となることがあります。

禁止
OA デスク等にマグネットで機器を取り付けたまま、機器をずらさないでください。被着面の塗装などに傷がつく恐れがあります。

禁止
マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により記録内容が消去される恐れがあります。

禁止
機器をマグネットでパソコンおよびディスプレイなどの電子機器には取り付けしないでください。

設置、接続のしかた

ご希望の場所に設置します。水平な安定した場所で、本装置の両側面にある通気口が異物などによってふさがれないような場所に設置してください。また、本装置は屋外ではご使用になれません。すべてのケーブルが装置間を接続するのに適切な長さであることを確認します。FH504EL/508ELと端末(またはブリッジ・ルーター・スイッチ)を接続するケーブルの長さは100m以内にしてください。一方、FH504EL/508EL同士をカスケード接続するケーブルの長さは5m以内にしてください。また、**カテゴリ5**のUTPケーブル(ストレートタイプ)を使用してください。

1. 本体背面の100BASE-TXポートにUTPケーブルを接続します。

2. ネットワークに接続する端末に100BASE-TX ネットワークインターフェイスカードが正しく取り付けられていることを確認し、UTPケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェイスカードに接続します。

3. ACアダプターのDCプラグを本体背面のDCジャックにさし込みます。ACアダプターのACプラグをAC100 Vコンセントに接続し、前面のPWR LED(緑)が点灯したことを確認します。UTPケーブルが正しく接続されていれば、接続したポートのLNK/RX(緑)LEDが点灯します。

スタンドアローン

FH504EL/508ELは単純なスタンドアローンの環境で使用できます。FH504EL/508ELと端末間のUTPケーブルの長さは100m以内にしてください。

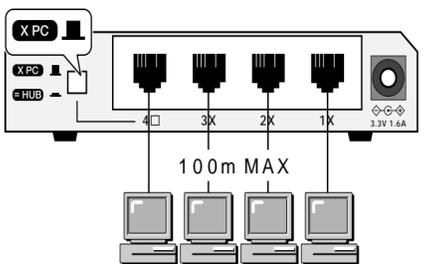


図4 スタンドアローンの接続例

カスケード接続

FH504EL/508ELのカスケードポート(最終ポート)を使用すると、2台のリピータをストレートケーブルでカスケード接続することができます。他のリピータの100BASE-TXポートとFH504EL/508ELのカスケードポートをストレートタイプのUTPケーブルで接続してください。カスケード接続をする場合、リピータ間のUTPケーブルの長さは5m以内にしてください。

またリピータと端末(またはブリッジ・ルーター・スイッチ)間のUTPケーブルの長さは100m以内にしてください。

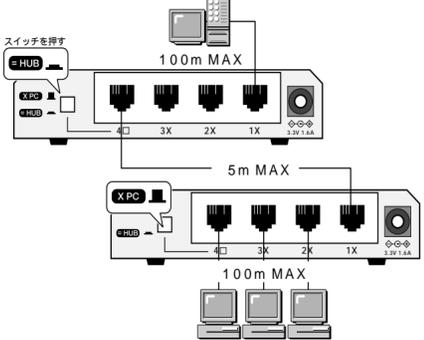


図5 カスケード接続の例

1. 最終ポートにUTPケーブル(ストレートタイプ)のモジュラープラグを接続し、**カスケード切替スイッチ**を**HUB**に設定してください。

2. UTPケーブルのもう一方の端のモジュラープラグを接続先のハブの通常のポート(MDI-X)に接続します。接続先のハブのポートがFH504EL/508ELの最終ポートである場合、接続先のハブの**カスケード切替スイッチ**は**XPC**に設定してください。

接続確認テストの方法

本製品の正しい接続とその動作状態を確認するには、以下の手順に従って行ってください。

1. 本製品に電源を投入し、PWR LEDが点灯することを確認します。ポート1とポート2にUTPケーブルを接続してください。ポート1にはパソコンA、ポート2にはパソコンBが接続されると仮定します。

2. ポート1とポート2のLNK/RX LEDが点灯していることを確認します。

3. お手持ちのアプリケーションソフトを利用し、AとBの2台のパソコン間で正常に通信が行われるかどうかを確認します。例えば、Windows等に含まれるPINGコマンドなどをご利用ください。

4. 3.で動作が正常に行われたら、ポート2からケーブルを外し、他のポートにUTPケーブルを接続し直し、同様に確認を行います。

5. カスケードポート(最終ポート)をのぞく、すべてのポートで異常がないことを確認します。

6. カスケード切替スイッチを**HUB**(MDI)に設定します。

7. 次に、カスケードポートと他のリピータを接続し、3.~5.と同様の手順で、AとC、BとCのように次々とパソコン間で接続確認テストを行います。

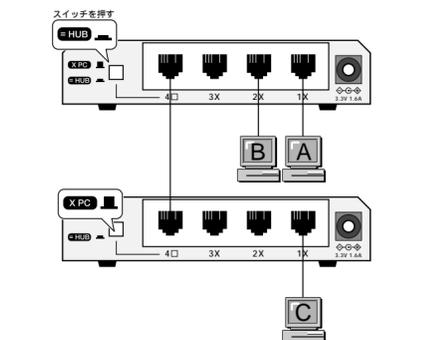


図6 テストの方法

トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

1. **PWR LEDは点灯していますか?**

PWR LEDが点灯していない場合は、ACアダプターのDCプラグが本体に正しく接続されているか、また、ACプラグがコンセントに正しく接続されているかどうか確認してください。なお、FH504EL/508ELには、電源スイッチはついていません。

2. **LNK/RX LEDは点灯していますか?**

LNK/RX LEDは接続先の機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

接続先の機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェイスカードに障害がないか、ネットワークインターフェイスカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。UTPケーブルは外見上断線しているかわかりにくいので、ケーブルを変えてみるのも一つの方法です。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。

特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

接続先の機器が100BASE-TXでHalf Duplex(又はAuto Negotiation)であることを確認してください。FH504EL/508ELは100Mbps Half Duplexで動作します。

本製品のカスケード切替スイッチが正しく設定されているか確認してください。カスケード接続している場合、一方のハブのポートは**HUB**(MDI)に、もう一方のハブのポートは**XPC**(MDI-X)に設定しなければなりません。最終ポートをカスケード接続ではなく、パソコンなどを接続するために使用している場合は、**XPC**(MDI-X)に設定します。

リピータ(=ハブ)の数が制限を越えてないか確認してください。FH504EL/508ELはクラスIIリピータ(=ハブ)ですから、1つのコリジョンドメイン内に接続できる数は2台までです。クラスIのリピータの場合は、1つのコリジョンドメイン内でカスケード接続することができません。

推奨ケーブル

ストレートのUTPケーブル(Unshielded Twisted Pair Cable = シールドなしツイストペアケーブル)をご使用ください。100BASE-TXでは、カテゴリ5のケーブルを使用しなければなりません。

製品仕様

・サポート規格
IEEE802.3u 100BASE-TX

・電源部
入力電圧: AC100V - AC120V
周波数: 50/60Hz
最大入力電流: 0.1A
平均消費電力: [FH504EL]2.1W (最大値も同値)
[FH508EL]3.7W (最大値も同値)
平均発熱量: [FH504EL]1.8Kcal/h (最大値も同値)
[FH508EL]3.2Kcal/h (最大値も同値)

・環境条件
保管温度: -20 ~ 60

動作温度: 0 ~ 40
保管温度: 95%以下(ただし、結露なきこと)
動作湿度: 80%以下(ただし、結露なきこと)

・外形寸法(突起部含まず)
[FH504EL]: 99(W) x 54(D) x 21(H) mm
[FH508EL]: 158(W) x 54(D) x 21(H) mm

・重量(ACアダプタ含まず)
[FH504EL]: 160g
[FH508EL]: 240g

・適用規格
EMI規格: VCCIクラスA

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報処理装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、裏の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付いただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早

く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

アライドテレシス サポートセンター	
Tel: ☎0120-860-772	
月~金(祝・祭日を除く)	9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 18:00
土(祝・祭日を除く)	10:00 ~ 17:00
Fax: ☎0120-860-662	
年中無休 24時間受け付け	

調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

使用しているハードウェアについて

・製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。

(例) 

お問い合わせ内容について

・どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に再現できるように記入してください。

安全のために

必ずお守りください

警告
下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

異物は入れない 水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ACアダプターのコードを傷つけない
火災や感電の原因となります。

表示以外の電圧では使用しない
本製品に付属のACアダプターは100Vで動作します。

付属のACアダプター以外で使用しない
火災や感電の原因となります。必ず、付属のACアダプターを使用してください。

コンセントや配線器具の定格を超える
使い方はしない
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

通気口はふさがらない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

湿気やほこりの多いところ
油煙や湯気のあたる場所
には置かない
火災や感電の原因となります。

設置場所注意
設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

ACアダプターのコードを傷つけない
火災や感電の原因となります。

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因となります。

静電気注意
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

次のような場所での使用や保管はしないでください
・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)

・エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成について

・ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。

ご注意

・本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、すべての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本装置の内容容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2000 アライドテレシス株式会社

商標

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびそのたの国における登録商標です。

マニュアルバージョン

2000年4月 Rev.A 初版

取り扱いにはいないに
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因となります。

機器は、乾いた柔らかい
布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい
布に薄めた台所用洗剤(中性)を
ぬらすな
中性洗剤
使用
強く絞る
使用

お手入れには次のものは使わないで
ください
・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)

シンナー類
禁止